

雲仙市観光マーケティングレポート 2025年11月号

UNZEN City Tourism Marketing Report

2025 November

今月の風景 小浜温泉(ドローン撮影)

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service



INDEX

今月のサマリー

年間訪問者数推移

今月の日別訪問者推移

今月のブロック別訪問者割合

今月の訪問者属性

今月の発地×年代比率

他都市比較

今月の特集 【紅葉時期の人流等から見る秋の雲仙観光動向速報】

サキドリトレンド【2025年度の全国の紅葉期の観光】

雲仙観光局活動報告



【今月の観光動向と紅葉期傾向】

2025年は紅葉の見頃が例年より遅れ、観光需要のピークが11月中旬～下旬に後ろ倒しとなった。11/23（日）には今年最多となる16,351人が来訪し、TVでの紅葉特集放映（11/19）なども後押しに。昨年と比べても紅葉後半期の来訪者数が特に顕著に伸び、ピーク期間の分散化とロングシーズン化が見られた。

【地域構成：九州近隣型の“地元ピーク”が形成】

ピーク日における九州・沖縄エリアからの来訪者割合は84.0%（前年79.2%）と上昇。長崎・福岡・熊本・佐賀の4県だけで昨年比＋約2,000人と、地元・近隣からの需要が大きく伸長。一方で関東や東北など遠距離圏は横ばい～微減にとどまった。

【宿泊・日帰りとも全体来訪は微増】

11月の全体来訪者数は229,753人（前年221,275人）と微増。特に「日曜×快晴×紅葉後半」という条件が揃った週末（11/23）は記録的な集客につながった。

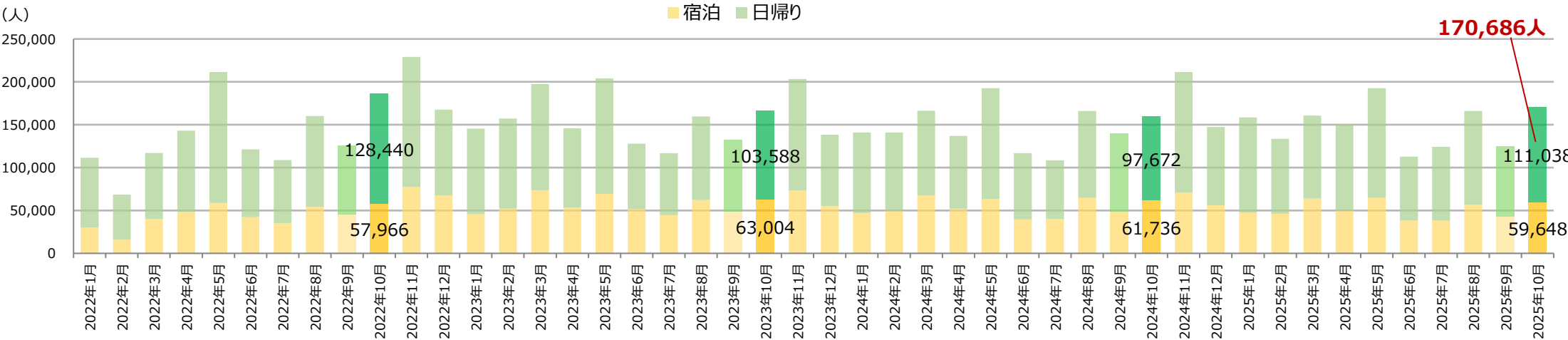
【後半期の需要獲得が鍵に】

今後も紅葉の後ろ倒し傾向が続くことが想定され、従来の11月上旬中心から中下旬への戦略転換が求められる。ピーク見極めに応じた柔軟な情報発信や、近隣客層向けの短期訴求が集客強化の鍵となる。

年間訪問客数推移（2022年からの推移）

- ・訪問者数は約17万人と前年よりも上回った(2024年10月訪問者：159,408)。
- ・10月の訪問者数は前月から大きく伸び、日帰り・宿泊ともに好調だった。秋季観光需要の高まりと日帰り客の拡大が全体を押し上げたと考えられる。

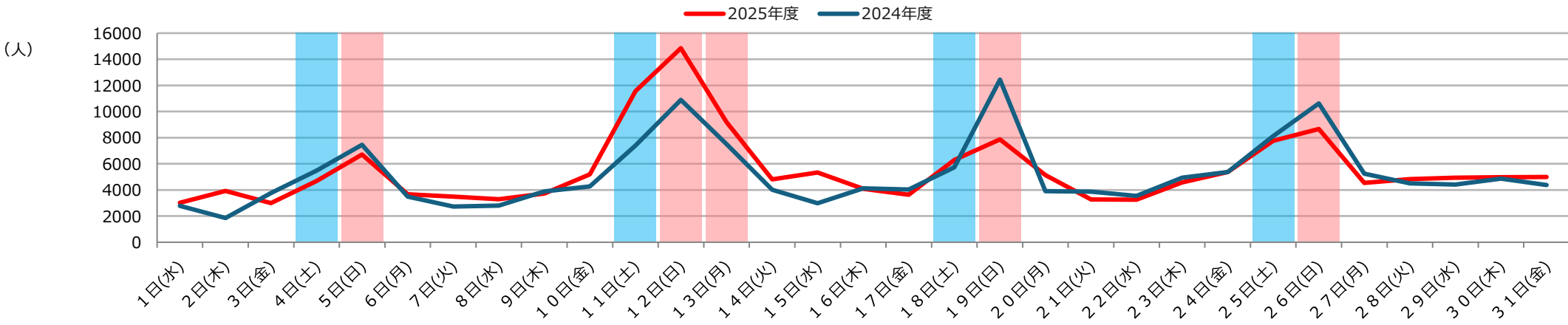
訪問客数	全体	日帰り	宿泊※
前月比	137% ↑	136% ↑	139% ↑
前年同月比	107% ↑	114% ↑	97% ↓



10月の日別訪問客数推移

10月は気候の安定と行楽シーズンの到来により、平日・週末ともに来訪者数が前月を大きく上回った。特に平日の伸びが顕著で、混雑を避けて観光を楽しむ層の増加が見られた。また、紅葉や温泉を中心とした秋の観光需要の高まり、そして訪日客の回復傾向も追い風となり、全体的に好調な結果につながったと考えられる。

	平日	土曜	日・祝
今月平均	4,231人/日	7,577人/日	9,460人/日
前月比	144% ↑	134% ↑	132% ↑
前年同月比	111% ↑	113% ↑	97% ↓



※延べ宿泊滞在数（例1名が2泊3日の場合は3名とカウント）

資料）おでかけウォッチャー、入湯税実績より推計

■ 紅葉見頃の“後ろ倒し”でロングシーズン化

2025年の紅葉期は全国的に見頃が遅れ、結果として秋観光が冬観光と接続しやすい“ロングシーズン”となった。これにより、従来11月上旬までとされていた集客のピークが中下旬まで延び、宿泊施設・飲食・体験コンテンツの稼働率が改善した。

長野県箕輪町の「もみじ湖」

紅葉のピークが平年より1週間遅れたため、地元は紅葉祭りのライトアップやマルシェの開催期間を当初予定より1週間延長。結果、紅葉シーズン（10/24～11/20）の来場者数は約6万4000人に達し、昨年より約8000人増加しました。期間中は平日にも人出が流れ、地元では駐車場の事前予約制やマイカー規制など渋滞対策も効果を上げたと報告されている。

京都でも、異例の猛暑の影響でモミジの色づきが遅れ、一部で葉が縮れて落葉する被害が発生。嵐山の名刹・鹿王院では恒例ライトアップ開始を1週間遅らせ、紅葉の進行に合わせて対応した。（近年は紅葉がクリスマス時期までずれ込む例も見られる）。

■ 話題化・SNS波及を呼んだスポットやイベント

紅葉と「癒し」や「食」「映え」のかけ合わせでSNS発信を誘発した事例が多数見られた。若年層を中心に、事前予約不要・直前判断型で楽しめる紅葉観光が注目された。

箱根

芦ノ湖越しに富士山を望む夕景と紅葉の絶景ポイントがSNS上で話題になるなど、「紅葉×○○」の映える光景が各地で拡散しました。

京都

SNS映えスポットとして有名な瑠璃光院が今年から紅葉時期の特別拝観を事前抽選予約制に変更。11月中旬以降のピーク時（11/8～12/7）に抽選制限を設ける異例の対応を取り、拝観希望者が殺到する人気ぶりが改めて報じられました

神奈川県箱根強羅公園では、周囲の紅葉に秋咲きの「十月桜」が薄ピンクの花を付ける珍しいコラボレーションが見られ、訪れた人々を魅了しました

■ 山岳観光地での成功と地域誘客

山間部・中山間地域では“紅葉＋地域資源”の組み合わせで地元事業者の冬期収益向上を実現。アクセスの悪さを逆手に取った没入型体験や、地域農産物との連携が奏功。

栃木県日光市 いろは坂

毎秋恒例の渋滞問題に対し県が明智平駐車場の閉鎖実験を初実施。11月初旬の連休3日間、第二いろは坂沿いの県営駐車場をあえて閉鎖し、上り車線を通過車両専用確保することで滞留解消を図った。これまで分散来訪を呼び掛けても集中してしまう課題に対し、思い切った交通流動化策で対応し成果が出た。

京都市の調査では、混雑する有名社寺周辺で外国人観光客が急増する一方、郊外の山間エリア（例：京北地域）では日本人観光客の増加が顕著との結果が出た。この傾向を踏まえ、各地の観光局や自治体は長期滞在型の体験プログラムや穴場エリア周遊を打ち出し、紅葉シーズンの地方誘客に取り組んでる。

探すイライラ」を解消し、快適な温泉街へ ～「雲仙温泉街駐車場混雑可視化システム」の実装～

課題と背景

雲仙温泉街では、紅葉シーズンや連休中における「駐車場待ちの渋滞」が長年の恒常的な課題となっていました。「どこの駐車場が空いているか分からない」ために車が滞留し、周辺道路の混雑を招くだけでなく、駐車を諦めて帰ってしまう観光客の「機会損失」も発生しており、この解決が急務とされていました。

本取り組みは、令和7年度観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」に採択され、大成建設株式会社との共創事業として実施しています。雲仙温泉街にある主要6カ所の駐車場（計218台分）に「AI画像解析カメラ」を設置しました。カメラ映像から駐車台数をリアルタイムで解析し、Webサイト上で「空き」「満車」といった混雑状況を即座に配信する仕組みを構築しました。



利用者・地域へのメリット

観光客の皆様は、スマートフォンで事前に空き状況を確認できるため、空いている駐車場へ迷わずスムーズに直行することが可能になります。地域としても、渋滞緩和による環境負荷の低減に加え、駐車にかかる時間を短縮することで滞在時間を確保し、消費機会の創出につながります。

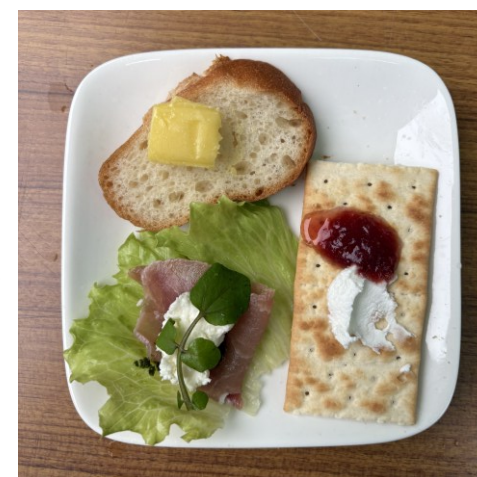


第6回ONSEN・ガストロノミーウォーキングin 雲仙温泉

ガストロノミー・ツーリズムとはその土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズムで、欧米を中心に世界各国で取り組まれています。

今年で6回目の開催となる雲仙温泉では、約8キロのコースを歩きながら、雲仙の食、地酒、温泉、景色を楽しんでいただきました。開催時はあいにくの雨でしたが、次第に曇り空へと変わり、運動をするのに適した気温となりました。

いろんな方々にご協力いただき、大きな事故や怪我なく無事に開催することができました。



ポイント⑥ パインテルファームの自家製チーズ盛合せ↑

紅葉期の窓口状況

紅葉シーズンの11月中旬、仁田峠で1～2時間の渋滞が発生した半面、この頃すでに紅葉の見頃は少し過ぎていたようです。雲仙温泉観光案内所には、11/16(土)、17(日)の2日間で、県内7名、県外78名、海外23名のお客様が訪れ、紅葉・渋滞状況、三十路苑開園時期等の問い合わせが集中しました。特に海外のお客様からは、温泉入浴時のタトゥーに関する質問や普賢岳登山の質問がありました。その他、観光ルート提案、宿泊施設紹介、マンホールカードやEV充電設備など多様な問い合わせも増え、雲仙温泉街のハイシーズンを感じる期間となりました。



第5回有明ベイサイドをもっと好きになるワーキングにぜひご参加ください 12/19

6月から始まったワーキングもついに第5回目となりました。有明ベイサイドエリア（愛野・吾妻・瑞穂）の魅力を展開してきたワーキングも、いよいよまとめ直していく最終段階に入ります。第5回では、事務局の考える「かかせない魅力を表した文章案」を見ながら、推敲や意見交換を行う予定です。大事な回になりそうです。ご参加の程、どうぞよろしくお願いいたします。

第5回申込はこちら↓



第1回～4回の様子はこちら↓



【第4回ワーキングに参加してくださった吾妻中学校3年生よりお知らせ】

その後更に「吾妻らしさ」を探究した結果を「吾妻町PR 企画プレゼン会」として発表します。お時間が許すならば、今回のプレゼン会にお越しいただき、今後続く活動を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。 日時:12/5(金)14時05分～、場所:雲仙市立吾妻中学校、予約不要。

ほっとふっと105リニューアル会議始動

ほっとふっと105の施設内について、少しリニューアルを考えております。雲仙観光局内では、担当者会議が始まりました。売り場の工夫や新商品の案も出ています。今後にご期待ください！（時期未定）

現在のほっとふっと105→



セールス報告：インドネシア、香港、世界への発信を積極的に

11月の間に雲仙観光局は、福岡にてインドネシアと香港の市場のバイヤーへの商談会に参加し、他のセールスと合わせて、26社に営業を行いました。全世界から雲仙に興味を持っていた会社が多く、既に来年度から雲仙の魅力をコンテンツにしたり、再来年から九州ツアーに雲仙を含める予定したりするバイヤーも何人もいらっしゃいました。

海島遊民くらぶ様の「49時間基礎研修プログラム」に行ってきました

11/17(月)-19(水)、雲仙観光局員3名が、三重県鳥羽市にある海島遊民くらぶ様へ研修に行ってきました。それぞれが学習目標を立てて臨みました。「まずは楽しんでね！」という声掛けで始まった研修は、複数の体験を通じて各自が学びを得るスタイルで進み、充実した時間となりました。地域の1つの出来事が、線でつながり面となって理解が深まる構成や、地元の人との自然な交流を通じて、参加者が地域の一員と感じられる温かい雰囲気づくりが印象的でした。詳細は後日雲仙ポータルでも報告します。

雲仙観光局 よろず相談窓口



お気軽にご相談ください

- とくに得意です
 - ・人と人をおつなぎする
 - ・SNSの活用
 - ・Googleのビジネス活用
- どんな相談ができるか
 - ・観光や地域づくり
 - ・SNSやWebまわり
 - ・人材育成 など

予約フォーム→→→

次回出張窓口
12月16日(火)13～16時
千々石・小浜エリア

お待ちしております



担当：地域営業部（堀口）

雲仙市観光マーケティングレポート 2025年11月号

一般社団法人 雲仙観光局 UNZEN Destination Service

〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320番地 TEL：0957-73-3639 FAX：0957-73-3620

(公式URL) <https://unzen-dmo.com> (全員集合！雲仙ポータル) <https://www.unzen-portal.jp/>

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

本資料は、一般社団法人 雲仙観光局の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当局までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
※お問い合わせ先：雲仙観光局／ブランディング・マーケティング部（担当：黒原・白濱・金澤）
本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト
| 自分らしい雲仙を見つける |

